

Automation Anywhere
A360ご利用中のユーザー様

Automation Anywhere A360

【Chrome Ver.123以降向け】 レコーダーパッケージ差し替え手順書

ソフトバンク株式会社
法人プロダクト&事業戦略本部

2024年3月13日

 SoftBank

CONFIDENTIAL

#	変更内容	変更日
1.0	新規作成	2024/3/7
1.1	UiaProviderについて追記(p.12 / p.45), 「Botの更新」機能について追記(p.24), 一部表記修正(p.8-p.12)	2024/3/11
1.2	レコーダーパッケージ2.17.6のダウンロードURLを p.15へ追記 (※以前の版で「2.17.5」とご案内していたものと同機能のパッケージとなります)	2024/3/13

目次

- 本資料について
- 対応チャート
- 手順A レコーダーパッケージのダウンロード・適用
- 手順B Botの更新
- 手順C 手動でのBotパッケージバージョンの更新

本資料について

■本資料について

本手順書は2024/3/13以降に配信されるChrome Ver.123において、A360のChromeを操作するアクションが動作しなくなる事象に対応するための手順書となります。

※版別の追記修正内容は改定履歴ページ参照

■対象バージョン・ブラウザ

対象バージョン：クラウド版/オンプレミス版 全バージョン

対象ブラウザ：Google Chrome

※Microsoft EdgeではVer.123以降にバージョンアップしても操作不可にはならないため対象外

■対象環境・パッケージバージョン

次のページをご覧ください。

お客様の環境により発生事象が異なります。下表をご参照下さい。

事象A：Bot開発/改修時に、RecorderアクションによるGoogle Chromeのキャプチャが不可となる場合があります。

事象B：既存Botの動作において、RecorderアクションによるGoogle Chromeの操作が不可となる場合があります。

表：Chrome Ver.123適用時の環境別影響発生一覧

Control Room バージョン	パッケージ バージョン	Bot開発/改修への影響	既存Botの実行
v.25以降	2.17.1以前	影響あり(事象A)	影響あり(事象B)
	2.17.2~2.17.4	影響あり(事象A)	影響なし
	2.17.6 ※ (3/13リリース済)	影響なし	影響なし
v.24R2以前	2.17.1以前	Control Room v.24.R2以前 + Chrome v.123以降の組み合わせでは Chromeの操作が不可となります (※CR v.24R2ではレコーダーパッケージ 2.17.2以降が利用できないため)	

※以前の版では「2.17.5」とご案内していたパッケージと同機能のものとなります（名称変更されました）

※パッケージのバージョン変更は想定外の事象を引き起こすことがあるため、可能であれば検証後の本番環境適用をお願いいたします

対応チャート

ご利用の環境（クラウド版・オンプレミス版）とバージョンにより対応内容が異なります。
以下チャートをご覧くださいのうえ、ご対応ください

クラウド版

ご利用の場合

以下のページをご覧ください

Control Roomのバージョン：
v.31(全お客様共通)

P.9のチャート
をご覧ください

オンプレミス版

ご利用の場合

バージョンにより、対応が異なります。以下のページをご覧ください

Control Roomのバージョン：
v.28以降の場合

P.10のチャート
をご覧ください

Control Roomのバージョン：
v.25/26/27の場合

P.11のチャート
をご覧ください

Control Roomのバージョン：
v.24(24R2)以前の場合

P.12のチャート
をご覧ください

※Control Roomのバージョンは、ビルド番号から判定可能です。
ビルド番号の確認方法とバージョン対応表は、本資料最終ページをご覧ください。

■クラウド版 をご利用のお客様

1. **手順A**をご覧のうえ、パッケージファイルをダウンロードし、適用してください

※クラウド環境においては、CRの設定内容によっては目的のバージョンのパッケージが既にダウンロードされていたり、デフォルトパッケージに設定されている場合があります。

目的のパッケージバージョンが既にデフォルトバージョンに設定されている場合は、**手順Aをスキップ**してください。

ダウンロード済みでデフォルトバージョンとなっていない場合は、**手順Aの付録(p.21)をご覧のうえ、レコーダーパッケージのデフォルトバージョンを更新**してください。

2. **手順B**をご覧のうえ、「Botの更新」機能を使用して、今回の対象Botのパッケージバージョンを上げてください

3. **手順C**をご覧のうえ、非公開領域のBotのレコーダーパッケージバージョンを変更する作業を行ってください

■ オンプレ版 v.28以降をご利用のお客様

1. **手順A**をご覧くださいのうえ、パッケージファイルをダウンロードし、適用してください

※CRでの設定内容によっては、目的のバージョンのパッケージが既にダウンロードされていたり、デフォルトパッケージに設定されている場合があります。

目的のパッケージバージョンが既にデフォルトバージョンに設定されている場合は、**手順Aをスキップ**してください。

ダウンロード済みでデフォルトバージョンとなっていない場合は、**手順Aの付録(p.21)をご覧くださいのうえ、レコーダーパッケージのデフォルトバージョンを更新**してください。

2. **手順B**をご覧くださいのうえ、「Botの更新」機能を使用して、今回の対象Botのパッケージバージョンを上げてください

3. **手順C**をご覧くださいのうえ、非公開領域のBotのレコーダーパッケージバージョンを変更する作業を行ってください

対応チャート オンプレ版のバージョン別対応(v.25/26/27)

■ オンプレ版 v.25/26/27をご利用のお客様

1. 手順Aをご覧のうえ、パッケージファイルをダウンロードし、適用してください

※v.27より、「パッケージ更新」機能が追加されており、その設定内容によっては、目的のバージョンのパッケージが既にダウンロードされていたり、デフォルトパッケージに設定されています。目的のパッケージバージョンが既にデフォルトバージョンに設定されている場合は、**手順Aをスキップ**してください。ダウンロード済みでデフォルトバージョンとなっていない場合は、**手順Aの付録(p.21)をご覧のうえ、レコーダーパッケージのデフォルトバージョンを変更**してください。

2. 手順Cをご覧のうえ、手動でBotのパッケージバージョンを上げてください

※v.27以前には**手順Bで使用している「Botの更新」機能が実装**されていないため、公開領域のBotのパッケージバージョンを一括で変更する方法がありません

<Bot数が多く、手順Cの手動パッケージバージョンアップが難しい場合>

以下のいずれかの対応をお願いいたします

- ・Chromeのアップデートを一時的に差し止めてください
- ・Control Roomをv.28以降にアップデートし、前頁の「**■ v..28以降をご利用のお客様**」と同様の作業を行ってください。

<https://docs.automationanywhere.com/ja-JP/bundle/enterprise-v2019/page/enterprise-cloud/topics/deployment-planning/on-prem-install/update-enterprise-a2019.html>

■ オンプレ版 v.24(24R2)以前をご利用のお客様

v.24(24R2)以前では、今回提供されるレコーダーパッケージをご利用いただくことができません。

以下のいずれかの対応をお願いいたします

- ・Chromeのアップデートを一時的に差し止めてください

- ・Control Roomをv.25以降にアップデートし、前頁の「■ v.25/26/27をご利用のお客様」と同様の作業を行ってください。

Control Roomのアップデート方法：

<https://docs.automationanywhere.com/ja-JP/bundle/enterprise-v2019/page/enterprise-cloud/topics/deployment-planning/on-prem-install/update-enterprise-a2019.html>

- ・すぐにChromeのアップデート差し止めやCRのアップデートを行うことが難しい場合、

APPENDIX(本資料最後部)にある「**引数によるUiaProvider無効化**」を参考にBotを修正してください。

手順A レコーダーパッケージのダウンロード・適用

■手順Aについて

本手順では、レコーダーパッケージをダウンロードし、Control Roomに適用します。

なお、本対応を行うことで、新規作成するBotはすべてダウンロードしたレコーダーパッケージが使用される形となります。

■注意点

レコーダーパッケージファイルは容量が1.0GB程度と大きいいため、ネットワーク速度が速い環境での作業をお勧めいたします。

■手順Aの流れ

- ①最新のレコーダーパッケージファイルをダウンロードします
- ②Control Roomに適用します
- ③レコーダーのデフォルトパッケージバージョンを確認します

具体的な手順は次ページ以降に記載してあります。

手順A-①

下記のURLからレコーダーのパッケージファイルをダウンロードします。

約1.0GBのファイルをダウンロードするため、ネットワーク速度や空き容量にご注意ください。

以下URLから、レコーダーパッケージ バージョン2.17.6(※)をダウンロードします

ダウンロードURL :

<https://aai-artifacts.my.automationanywhere.digital/packages/bot-command-recorder-2.17.6-20240311-142525-full.jar>

※以前の版にて「2.17.5」とご案内していたパッケージと同機能のものとなります（名称変更されました）

※参考：以前のパッケージバージョン 2.17.4のダウンロードURL（基本的に上記の2.17.6をご利用ください）

<https://aai-artifacts.my.automationanywhere.digital/packages/bot-command-recorder-2.17.4-20240206-195833-full.jar>

手順A-②

ダウンロードしたパッケージファイルをControl Roomに適用します。

Control Roomに管理者としてログインし、マネージ> パッケージのページを開き右上の[+]をクリックします。

パッケージ

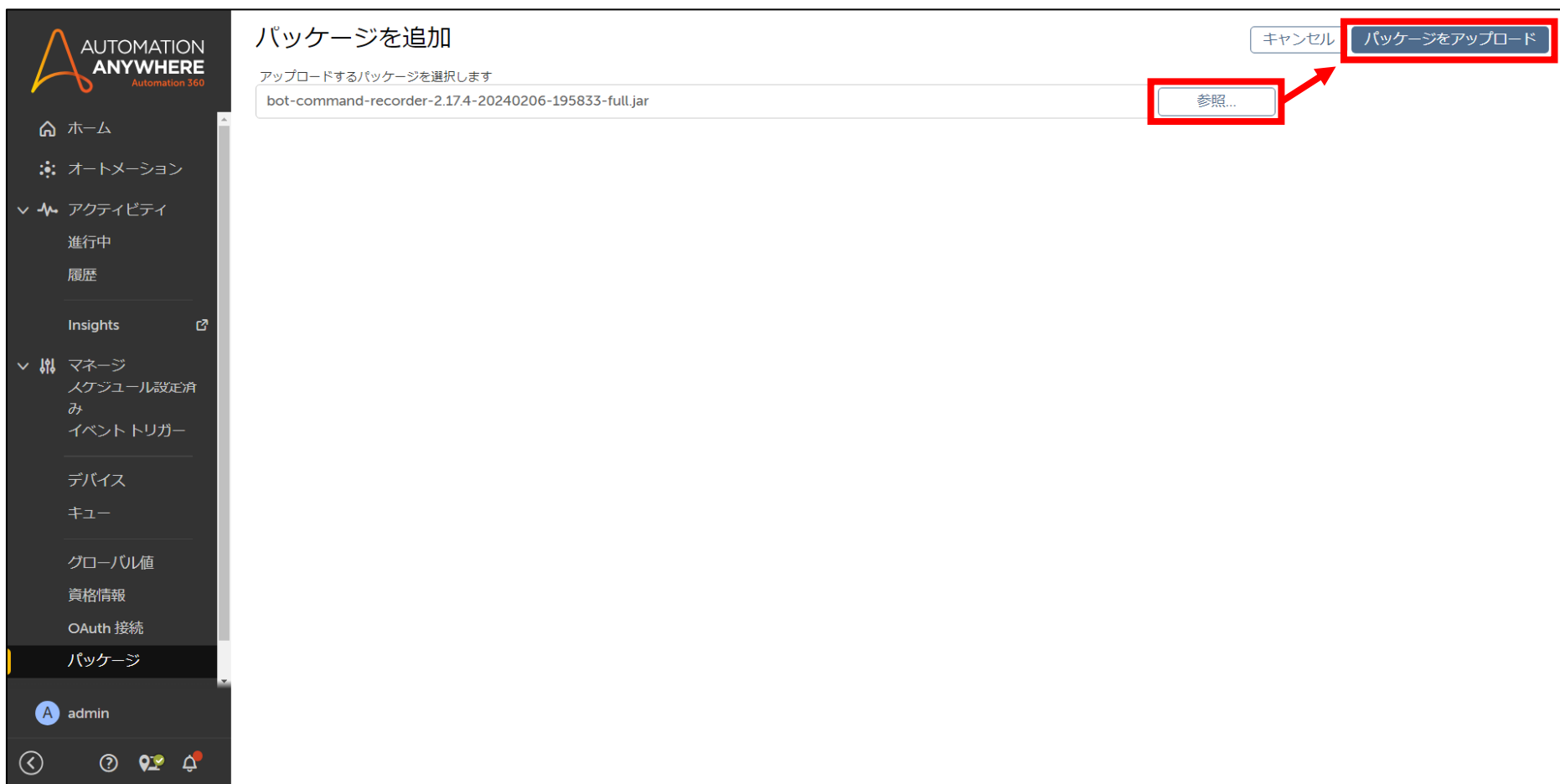
Bot Store から無料の Bot とパッケージをダウンロード

名前 検索

パッケージ (96)

ステータス	名前 ↑	ベンダー	デフォルトバージョン	Bot エージェント (推...	Control Room (推奨)	アクション数	トリガー数	
有効	Active Directory	Automation Anywhere	3.9.0	20.11 以降	8750 以降	33	0	⋮
有効	Apigee	Automation Anywhere	2.0.1	21.222 以降	8750 以降	4	0	⋮
有効	Boolean	Automation Anywhere	2.9.0	20.11 以降	8750 以降	6	0	⋮
有効	Bot の移行	Automation Anywhere	10.7.0	21.220 以降	15224 以降	2	0	⋮
有効	CSV/TXT	Automation Anywhere	2.12.0	20.11 以降	8750 以降	3	0	⋮
有効	DLL	Automation Anywhere	6.10.2	21.220 以降	15238 以降	5	0	⋮
有効	Excel	Automation Anywhere	3.18.2	21.210 以降	13980 以降	19	0	⋮
有効	Eメールトリガー	Automation Anywhere	2.12.7	21.210 以降	13980 以降	0	1	⋮
有効	Excelの基本操作	Automation Anywhere	6.15.0	21.112 以降	11307 以降	15	0	⋮
有効	Excelの高度な操作	Automation Anywhere	6.16.4	21.112 以降	11307 以降	54	0	⋮
有効	FTP/SFTP	Automation Anywhere	2.11.0	20.11 以降	8750 以降	12	0	⋮

先ほどダウンロードしたレコーダーパッケージファイル（JARファイル）を参照し、[パッケージをアップロード]をクリックします。アップロードに時間が掛かるため5～10分ほど待つ必要があります。



レコーダーパッケージのアップロードが完了すると下記の画面に自動的に遷移します。

「バージョン」がダウンロードしたバージョンになっていることを確認した上で[承諾、有効、デフォルトとして設定]をクリックしてパッケージの適用を完了させます。

パッケージを確認

拒否 承諾、有効、デフォルトとして設定

選択したパッケージの詳細

名前	説明	バージョン	ステータス
Recorder	クリック、読み取り、書き込みなどのUI要素との...	2.174-20240206-195833	無効
ベンダー	推奨 Bot エージェントのバージョン	推奨 Control Room のバージョン	
Automation Anywhere	21.210 以降	14068 以降	

アクション

アクション数 (3)

条件

- > キャプチャ
- > Recorder
- > ウィンドウのサイズ変更

手順A-③

パッケージの適用後、正常に適用できたかを確認します。

マネージ> パッケージを開き「レコーダー」をクリックします。（「レコード」ではありません）

The screenshot shows the Automation Anywhere management console. On the left is a dark sidebar with navigation options: ホーム, オートメーション, アクティビティ, マネージ (with sub-items: スケジュール設定済み, イベントトリガー), デバイス, キュー, グローバル値, 資格情報, OAuth 接続, **パッケージ** (highlighted), 管理 (with sub-item: 監査ログ), ユーザー. The main area displays a table of installed packages. The 'レコーダー' package is highlighted with a red box.

ステータス	名前 ↑	ベンダー	デフォルトバージョン	Bot エージェント (推...	Control Room (推奨)	アクション数	トリガー数	
有効	ループ	Automation Anywhere	3.7.5-20230316-155504	20.11 以降	17208 以降	3	0	⋮
有効	レガシー オートメーション	Automation Anywhere	6.3.2	21.200 以降	13279 以降	36	0	⋮
有効	レコーダー	Automation Anywhere	2.174-20240206-1958...	21.210 以降	14068 以降	3	0	⋮
有効	レコード	Automation Anywhere	1.8.2	21.134 以降	17917 以降	4	0	⋮
有効	ワークロード	Automation Anywhere	2.12.0-20230622-2126...	20.11 以降	8750 以降	1	0	⋮
有効	分析	Automation Anywhere	2.8.0-20230427-091823	20.11 以降	8750 以降	2	0	⋮
有効	待機	Automation Anywhere	4.9.0	20.11 以降	8750 以降	4	0	⋮
有効	数字	Automation Anywhere	3.8.0	20.18 以降	9130 以降	5	0	⋮
有効	文字列	Automation Anywhere	5.8.0	20.18 以降	9130 以降	18	0	⋮
有効	日時	Automation Anywhere	2.12.1	20.11 以降	8750 以降	7	0	⋮
有効	画像認識	Automation Anywhere	3.16.0	21.210 以降	14100 以降	2	0	⋮
有効	資格情報	Automation Anywhere	1.6.0	20.11 以降	8750 以降	2	0	⋮
有効	遅延	Automation Anywhere	3.8.0	20.11 以降	8750 以降	1	0	⋮

At the bottom of the table, there is a pagination control showing '100' items per page.

手順A レコーダーパッケージのダウンロード・適用

バージョンがダウンロードしたパッケージバージョンになっていることを確認します。

レコーダーパッケージの適用は以上となります。

※CRによってはレコーダーパッケージを適用したにもかかわらず

「最新バージョンが利用可能(2.17.x)」と表示される場合がありますが無視してください

レコーダー

パッケージの詳細 使用可/不可

このページには、選択したバージョンのパッケージの詳細が表示されます。別のパッケージバージョンを選択して、インストール済みのバージョンを更新することもできます。

バージョン

2.174-20240206-195833

選択したパッケージの詳細

名前	説明	バージョン	ステータス
Recorder	クリック、読み取り、書き込みなどの UI 要素との...	2.174-20240206-195833	デフォルト
ベンダー	推奨 Bot エージェントのバージョン	推奨 Control Room のバージョン	
Automation Anywhere	21.210 以降	14068 以降	

アクション

アクション数 (3)

条件

- > キャプチャ
- > Recorder
- > ウィンドウのサイズ変更

詳細事項

最終変更日	変更者	オブジェクトタイプ
1 時間前	システム	パッケージ

(補足) デフォルトパッケージバージョンの変更方法

デフォルトパッケージを任意のバージョンに変更したい場合は下記の手順を実施します。
バージョンのプルダウンメニューをクリックし、任意のバージョンを選択します。
その後「デフォルトとして設定」をクリックします。

The screenshot shows the 'レコーダー' (Recorder) page in the Automation Anywhere interface. The left sidebar contains navigation options like 'ホーム', 'オートメーション', 'アクティビティ', 'マネージ', 'デバイス', 'キュー', 'グローバル値', '資格情報', 'OAuth 接続', 'パッケージ', and '管理'. The main content area shows the 'バージョン' (Version) dropdown menu with the following options:

バージョン	ステータス
2.174-20240206-195833	デフォルト
2.172-20240125-182326	デフォルト
2.13.6-20230809-153403	デフォルト
2.7.3-20220527-004608	無効

Red arrows indicate the sequence of actions: clicking the version dropdown, selecting the desired version, and clicking the 'デフォルトとして設定' button.

(補足) デフォルトパッケージバージョンの変更方法

「デフォルトとして設定」をクリックした後、「バージョン」がデフォルトバージョンに設定したものに代わっていることを確認してください。

デフォルトバージョンの変更方法は以上となります。

The screenshot displays the 'レコーダー' (Recorder) interface in Automation Anywhere. The left sidebar contains navigation options such as 'アクティビティ', ' Insights', 'マネージ', 'デバイス', and 'パッケージ'. The main content area shows the 'レコーダー' details for a specific package. A dropdown menu is set to '2.17.2-20240125-182326'. Below this, a table lists package details, with the 'バージョン' (Version) field highlighted in red. The 'バージョン' is '2.17.2-20240125-182326' and the 'ステータス' (Status) is 'デフォルト' (Default). The 'アクション' (Action) section shows three actions: 'キャプチャ', 'Recorder', and 'ウィンドウのサイズ変更'. The '詳細事項' (Details) section at the bottom shows the last update time as '1時間前', the user as 'システム', and the object type as 'オブジェクトタイプ パッケージ'.

選択したパッケージの詳細			
名前 Recorder	説明 クリック、読み取り、書き込みなどのUI要素との...	バージョン 2.17.2-20240125-182326	ステータス デフォルト
ベンダー Automation Anywhere	推奨 Bot エージェントのバージョン 21.210 以降	推奨 Control Room のバージョン 14068 以降	

詳細事項		
最終変更日 1時間前	変更者 システム	オブジェクトタイプ パッケージ

手順B Botの更新

■手順Bについて

本手順は公開領域のBotに対しての対応策になります。

公開領域のBotが使用しているレコーダーパッケージのバージョンを、指定したバージョンに一括変更します。

■作業前の注意点

注意点1

本手順では公開領域のBotのみを対象とするため、非公開領域のBotのパッケージバージョンは変更されません。

非公開領域のBotのパッケージバージョンを変更したい場合は、あらかじめ公開領域にチェックインしておくか、

非公開領域のBotを個別にチェックアウト + 編集してパッケージバージョンを変更（手順Cにて解説）する必要があります。

注意点2

複数の方で「Botの更新」を実施した場合、右記のエラーメッセージが表示され、機能が実行できなくなる起こる場合があります。

万一エラーが出る場合、時間経過(数時間~1日)により解消します。

(※本事象は、v.31においては解消されています)

■「Botの更新」作業後の注意点

「Botの更新」を行ったあと、ロボットを編集しようとするとうエラーが表示される場合があります、その際は一部の内容を修正いただく必要があります。

詳細は後述の[「Bot変更時のエラーについて」](#)に記載しています。

なお、Bot Runnerでの実行には影響はありません。



パッケージバージョンの更新の実行中に、この操作を実行することはできません。

問題が解決しない場合は、システム管理者にお問い合わせください。

コード: repository.package.version.update.active

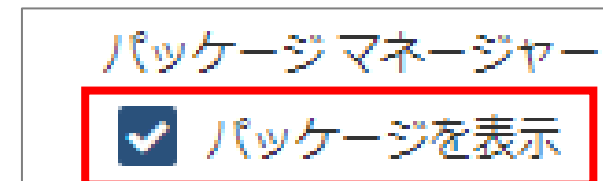
■ 手順Bの流れ

- ① ロールの確認をします
- ② Botの更新を行います
- ③ 更新結果を確認します

具体的な手順は次ページ以降に記載してあります。

最初にBotの更新を行うユーザの権限を確認します。

作業するユーザーのいずれかのロールに「パッケージマネージャー」の「パッケージを表示」と「Bot 更新の表示」、「Bot 更新の管理」にチェックが入っているか確認します。



Control Roomの左メニューから「管理」の「Bot の更新」をクリックすると「Bot の更新リスト」画面が表示されます。

※「Bot の更新」が表示されない場合、ロールが足りていない可能性があります

Bot の更新リスト

Bot を更新する前に以下を確認してください。

- プロセスが完了するまで、Bot をチェックアウトしない
- Bot に対して適切な権限がある

詳しくは、[ドキュメント](#) をご確認ください。

名前 Search

Bot の更新 (13)

ステータス	名前	開始時刻↓	終了時刻	所要時間	完成品	失敗...	スキップ...	合計...	最終変更日	変更者
完了	Updatebots.akio.nakagawa02@g.softbank.co.jp.24.03.06.17.02.11	12 分前	12 分前	9 秒	2	0	0	2	12 分前	akio.nakagawa
完了	Updatebots.akio.nakagawa02@g.softbank.co.jp.24.03.06.14.42.39	3 時間前	3 時間前	15 秒	1	0	0	1	3 時間前	akio.nakagawa
失敗	Updatebots.akio.nakagawa02@g.softbank.co.jp.24.03.06.14.41.19	3 時間前	3 時間前	1 秒	0	1	0	1	3 時間前	akio.nakagawa
失敗	Updatebots.akio.nakagawa02@g.softbank.co.jp.24.03.06.14.33.48	3 時間前	3 時間前	1 秒	0	1	0	1	3 時間前	akio.nakagawa
失敗	Updatebots.akio.nakagawa02@g.softbank.co.jp.24.02.15.14.02.22	2 週間前	2 週間前	51 秒	9	1	59	69	2 週間前	akio.nakagawa
完了	Updatebots.a2019_bc1.24.02.07.16.20.14	4 週間前	4 週間前	6 秒	1	0	0	1	4 週間前	a2019_bc1
完了	Updatebots.a2019_bc1.24.02.07.16.10.12	4 週間前	4 週間前	9 秒	1	0	0	1	4 週間前	a2019_bc1
完了	Updatebots.a2019_bc1.24.02.07.16.02.13	4 週間前	4 週間前	10 秒	1	0	0	1	4 週間前	a2019_bc1
完了	Updatebots.service_admin.24.02.02.14.53.06	1 ヶ月前	1 ヶ月前	11 秒	1	0	0	1	1 ヶ月前	service_admin
完了	Updatebots.junya.hirooka01@g.softbank.co.jp.24.01.25.15.34.52	1 ヶ月前	1 ヶ月前	1 秒	0	0	2	2	1 ヶ月前	junya.hirooka01
完了	Updatebots.akio.nakagawa02@g.softbank.co.jp.24.01.23.17.58.30	1 ヶ月前	1 ヶ月前	8 秒	3	0	0	3	1 ヶ月前	akio.nakagawa
完了	Updatebots.akio.nakagawa02@g.softbank.co.jp.23.06.23.11.40.38	8 ヶ月前	8 ヶ月前	16 秒	1	0	0	1	8 ヶ月前	akio.nakagawa
完了	Updatebots.kanae.tashima@g.softbank.co.jp.23.06.02.14.17.19	9 ヶ月前	9 ヶ月前	21 秒	12	0	2	14	9 ヶ月前	kanae.tashima 非アクティブ

「Bot の更新リスト」画面の右上の「Bot を更新」をクリックしサブメニュー内の「パッケージ バージョン」をクリックすると「更新 - パッケージ バージョン」画面が表示されます。

Bot の更新リスト

Bot を更新する前に以下を確認してください。

- プロセスが完了するまで、Bot をチェックアウトしない
- Bot に対して適切な権限がある

詳しくは、[ドキュメント](#) へをご確認ください。

名前 Search

ステータス	名前	開始時刻	終了時刻	所要時間	完成品	失敗	スキップ	合計	最終変更日	変更者
完了	Updatebots.akio.nakagawa02@q.softbank.co.jp.24.03.06.14.42.39	27 分前	27 分前	15 秒	1	0	0	1	27 分前	akio.nakagawa@...
失敗	Updatebots.akio.nakagawa02@q.softbank.co.jp.24.03.06.14.41.19	28 分前	28 分前	1 秒	0	1	0	1	28 分前	akio.nakagawa@...
失敗	Updatebots.akio.nakagawa02@q.softbank.co.jp.24.03.06.14.33.48	30 分前	30 分前	1 秒	0	1	0	1	30 分前	akio.nakagawa@...
失敗	Updatebots.akio.nakagawa02@q.softbank.co.jp.24.02.15.14.02.22	2 週間前	2 週間前	51 秒	9	1	59	69	2 週間前	akio.nakagawa@...
完了	Updatebots.a2019_bc1.24.02.07.16.20.14	3 週間前	3 週間前	6 秒	1	0	0	1	3 週間前	a2019_bc1

更新 - パッケージバージョン

キャンセル 更新 - パッケージバージョン

設定

エラー防止のための重要な情報

この機能を使用する場合は、サンプル Bot または本番環境 Bot から開始し、他の Bot に移行前に、実行された Bot を表示/編集モードで確認することをお勧めします。

確実に成功するには

- バージョンの互換性を確認するには、設定(Bot/Bot Validator)から Bot の検証をオンにします。
- 更新操作が完了するまで、Bot をチェックアウトしないでください。
- 更新操作中、パッケージが未知な状態に保たれていることを確認してください。

名前 Updatebots.akio.nakagawa02@q.softbank.co.jp.24.03.06.15.14.32

説明(任意)

最大文字数 = 255

パッケージバージョンをデフォルトに更新する

現在のバージョンがデフォルトより大きい場合、バージョンをダウングレードする

名前 Search

選択可能なパッケージ (119)

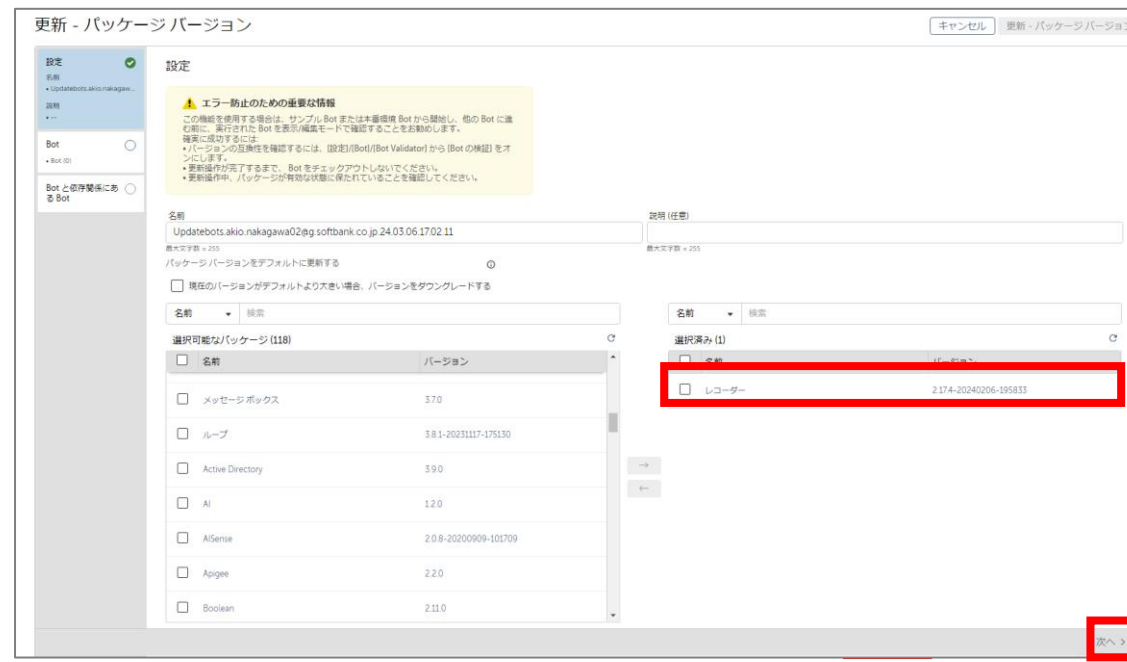
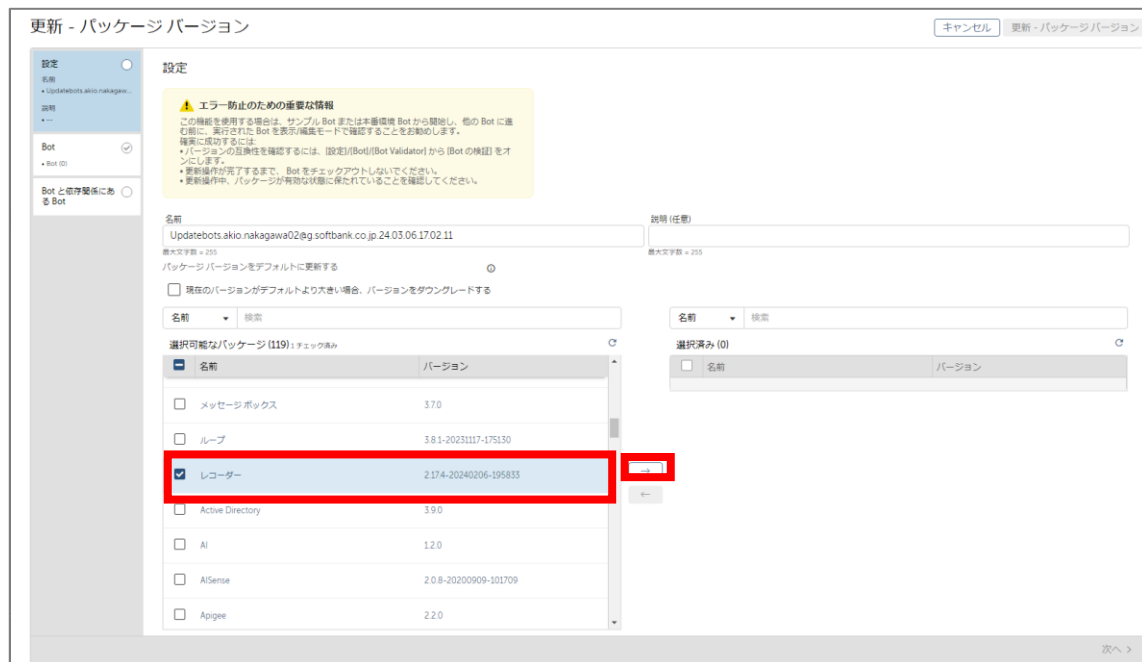
名前	バージョン
<input type="checkbox"/> A2019DemoPackage	2.6.0-20230314-220521
<input type="checkbox"/> AARI Utils Package	2.0.8-20211007-152940
<input type="checkbox"/> Bot の移行	10.9.0
<input type="checkbox"/> Datetime Utilities	2.0.3-20200818-115527
<input type="checkbox"/> Excel の高度な操作	6.19.1
<input type="checkbox"/> Fuzzy Match	2.0.0-20191101-002617
<input type="checkbox"/> Google ドライブ	2.14.0

選択済み (0)

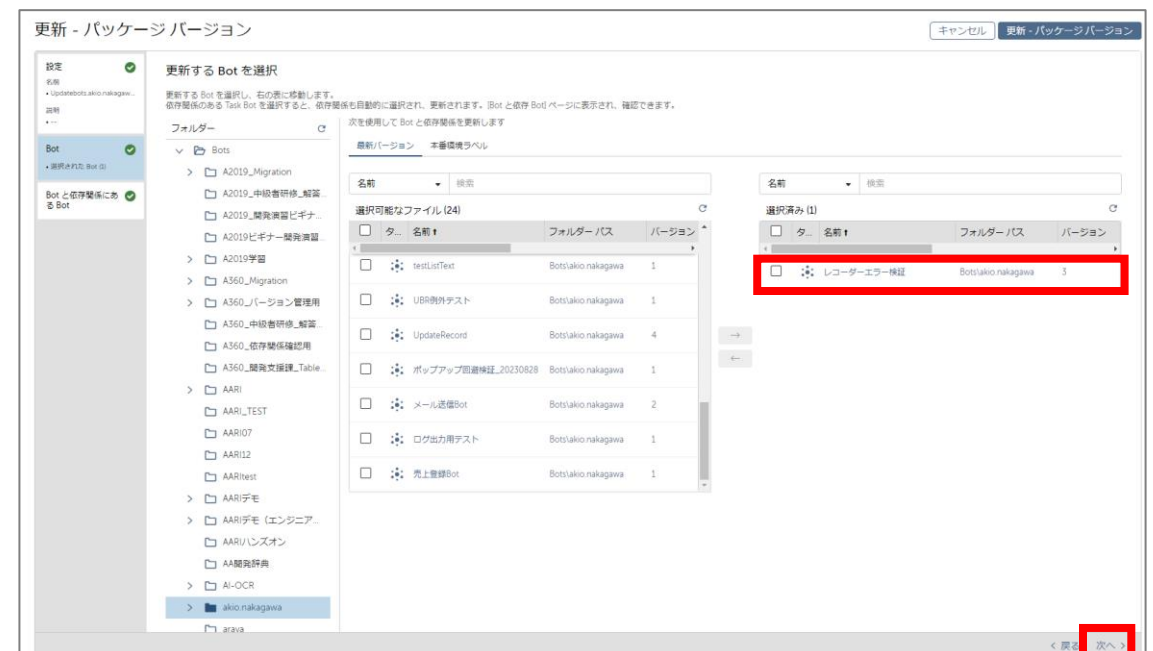
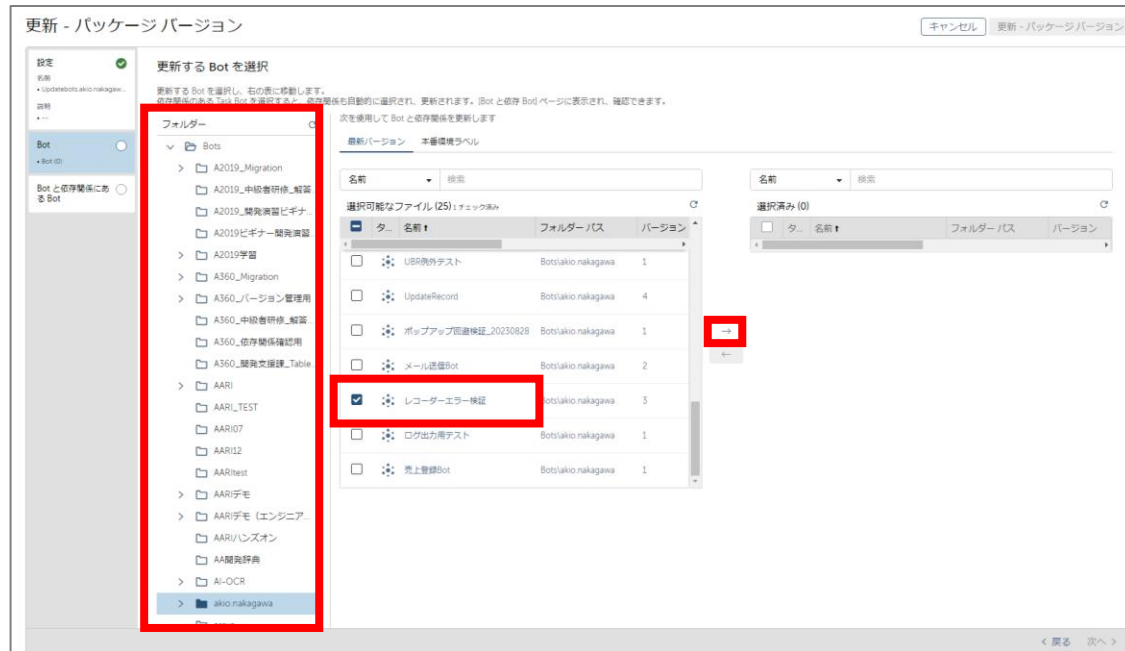
名前	バージョン
----	-------

次へ >

「更新 - パッケージ バージョン」画面内の「選択可能なパッケージ」から「レコーダー(Recorder)」をチェックし「→」をクリックしてレコーダーが「選択済み」へ移動したら、右下の「次へ >」をクリックします。



「フォルダー」から任意のフォルダに移動し、更新対象のBotを「選択可能なファイル」からチェックし「→」をクリックします。
対象のBotが画面右側の「選択済み」へ移動したことを確認します。
必要なBotを「選択済み」に移動したのちに画面右下の「次へ >」をクリックします。



「更新する Bot との依存関係を確認します」画面が表示されるので依存関係を確認します。

確認後、右上の「更新 - パッケージバージョン」をクリックします。

※依存関係にあるBotのパッケージも変更されます

※選択したBotに依存関係がない場合、本画面には選択したBotのみが表示されます

更新 - パッケージバージョン

キャンセル 更新 - パッケージバージョン

設定 更新する Bot と依存関係を確認します
名前
• Updatebots.akio.nakagaw...
説明
...

Bot 選択された Bot (1)

Bot と依存関係にある Bot

更新する Bot と依存関係を確認します
選択された Bot は、その依存 Bot を含めて更新されます。

タイプ	名前	バージョン	フォルダーパス
タスク Bot	TEST_HTML	1	Bots\akio.nakagawa
タスク Bot	レコーダーエラー検証	3	Bots\akio.nakagawa

< 戻る

「更新 - パッケージ バージョン」をクリックした後は「Bot の更新リスト」画面に戻るため、進行中ステータスが追加されたことを確認してください。

Bot の更新リスト

Updatebots.akio.nakagawa02@g.softbank.co... Botの更新が開始しました

Botを更新する前に以下を確認してください。
1. プロセスが完了するまで、Botをチェックアウトしない
2. Botに対して適切な権限がある
詳しくは、ドキュメントをご覧ください。

名前 Search

Botの更新 (13)

ステータス	名前	開始時刻	終了時刻	所要時間	完成品	失敗...	スキップ...	合計...	最終変更日	変更者
進行中	Updatebots.akio.nakagawa02@g.softbank.co.jp.24.03.06.17.02.11	たった今	該当なし	0秒	0	0	0	2	たった今	akio.nakagawa02
完了	Updatebots.akio.nakagawa02@g.softbank.co.jp.24.03.06.14.42.39	3時間前	3時間前	15秒	1	0	0	1	3時間前	akio.nakagawa02
失敗	Updatebots.akio.nakagawa02@g.softbank.co.jp.24.03.06.14.41.19	3時間前	3時間前	1秒	0	1	0	1	3時間前	akio.nakagawa02
失敗	Updatebots.akio.nakagawa02@g.softbank.co.jp.24.03.06.14.33.48	3時間前	3時間前	1秒	0	1	0	1	3時間前	akio.nakagawa02
失敗	Updatebots.akio.nakagawa02@g.softbank.co.jp.24.02.15.14.02.22	2週間前	2週間前	51秒	9	1	59	69	2週間前	akio.nakagawa02
完了	Updatebots.a2019_bc1.24.02.07.16.20.14	4週間前	4週間前	6秒	1	0	0	1	4週間前	a2019_bc1
完了	Updatebots.a2019_bc1.24.02.07.16.10.12	4週間前	4週間前	9秒	1	0	0	1	4週間前	a2019_bc1
完了	Updatebots.a2019_bc1.24.02.07.16.02.13	4週間前	4週間前	10秒	1	0	0	1	4週間前	a2019_bc1
完了	Updatebots.service_admin.24.02.02.14.53.06	1ヶ月前	1ヶ月前	11秒	1	0	0	1	1ヶ月前	service_admin
完了	Updatebots.junya.hirooka01@g.softbank.co.jp.24.01.25.15.34.52	1ヶ月前	1ヶ月前	1秒	0	0	2	2	1ヶ月前	junya.hirooka01
完了	Updatebots.akio.nakagawa02@g.softbank.co.jp.24.01.23.17.58.30	1ヶ月前	1ヶ月前	8秒	3	0	0	3	1ヶ月前	akio.nakagawa02
完了	Updatebots.akio.nakagawa02@g.softbank.co.jp.23.06.23.11.40.38	8ヶ月前	8ヶ月前	16秒	1	0	0	1	8ヶ月前	akio.nakagawa02
完了	Updatebots.kanae.tashima@g.softbank.co.jp.23.06.02.14.17.19	9ヶ月前	9ヶ月前	21秒	12	0	2	14	9ヶ月前	kanae.tashima@ 非アクティブ

しばらく待つと「ステータス」が完了へ変化します。

変化したことを確認後、「名前」欄のリンクをクリックし結果を確認します。

Bot の更新リスト Bot を更新 ▼

Bot を更新する前に以下を確認してください。

- プロセスが完了するまで、Bot をチェックアウトしない
- Bot に対して適切な権限がある

詳しくは、[ドキュメント](#) をご確認ください。

名前 Search

Bot の更新 (13) 🔄 目

ステータス	名前	開始時刻 ↓	終了時刻	所要時間	完成品	失敗...	スキップ...	合計...	最終変更日	変更者
完了	Updatebots.akio.nakagawa02@q.softbank.co.jp.24.03.06.17.02.11	5 分前	5 分前	9 秒	2	0	0	2	5 分前	akio.nakagawa02
完了	Updatebots.akio.nakagawa02@q.softbank.co.jp.24.03.06.14.42.39	3 時間前	3 時間前	15 秒	1	0	0	1	3 時間前	akio.nakagawa02
失敗	Updatebots.akio.nakagawa02@q.softbank.co.jp.24.03.06.14.41.19	3 時間前	3 時間前	1 秒	0	1	0	1	3 時間前	akio.nakagawa02
失敗	Updatebots.akio.nakagawa02@q.softbank.co.jp.24.03.06.14.33.48	3 時間前	3 時間前	1 秒	0	1	0	1	3 時間前	akio.nakagawa02
失敗	Updatebots.akio.nakagawa02@q.softbank.co.jp.24.02.15.14.02.22	2 週間前	2 週間前	51 秒	9	1	59	69	2 週間前	akio.nakagawa02
完了	Updatebots.a2019_bc1.24.02.07.16.20.14	4 週間前	4 週間前	6 秒	1	0	0	1	4 週間前	a2019_bc1
完了	Updatebots.a2019_bc1.24.02.07.16.10.12	4 週間前	4 週間前	9 秒	1	0	0	1	4 週間前	a2019_bc1
完了	Updatebots.a2019_bc1.24.02.07.16.02.13	4 週間前	4 週間前	10 秒	1	0	0	1	4 週間前	a2019_bc1
完了	Updatebots.service_admin.24.02.02.14.53.06	1 ヶ月前	1 ヶ月前	11 秒	1	0	0	1	1 ヶ月前	service_admin
完了	Updatebots.junya.hirooka01@q.softbank.co.jp.24.01.25.15.34.52	1 ヶ月前	1 ヶ月前	1 秒	0	0	2	2	1 ヶ月前	junya.hirooka01
完了	Updatebots.akio.nakagawa02@q.softbank.co.jp.24.01.23.17.58.30	1 ヶ月前	1 ヶ月前	8 秒	3	0	0	3	1 ヶ月前	akio.nakagawa02
完了	Updatebots.akio.nakagawa02@q.softbank.co.jp.23.06.23.11.40.38	8 ヶ月前	8 ヶ月前	16 秒	1	0	0	1	8 ヶ月前	akio.nakagawa02
完了	Updatebots.kanae.tashima@q.softbank.co.jp.23.06.02.14.17.19	9 ヶ月前	9 ヶ月前	21 秒	12	0	2	14	9 ヶ月前	kanae.tashima@Wソフトバンク

左側の「結果」タブをクリックし、全てのBotのステータスが「完了」となっていることを確認します。
Botの更新は以上となります。

Updatebots.akio.nakagawa02@g.softbank.co.jp.24.03.06.17.02.11 < 戻る

アップデート内容

名前 Updatebots.akio.nakagawa02@g.softbank.co.jp.24.03.06.17.02.11 ステータス 完了

概要

設定

結果

結果

ファイル名 Search

更新された Bot (2)

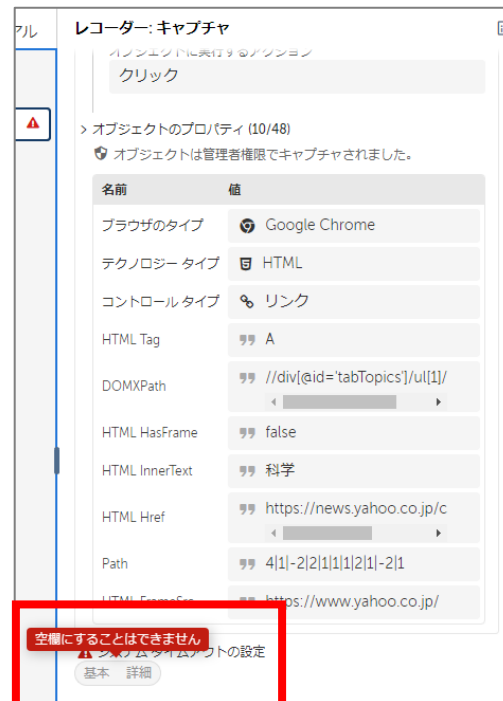
ステータス	タイ...	ファイル名 ↑	フォルダーパス	理由
完了	...	TEST_HTML	Bots\akio.nakagawa	successfully completed
完了	...	レコーダーエラー検証	Bots\akio.nakagawa	successfully completed

100 per page

詳細事項

最終変更日 7分前 変更者 A akio.nakagawa02@g.softbank.co.jp

「Botの更新」を行ったあと、ロボットを編集しようとするエラーが表示される場合があります。
これは「システム タイムアウトの設定」という機能がレコーダーパッケージv.2.15.2以降に追加されており、v.2.15.2より前のパッケージバージョンからアップデートするとその値が未選択になってしまうことが原因です。
Botを編集するタイミングで、各コマンドの「システム タイムアウトの設定」へ「基本」を設定いただく必要があります。
なお、「システム タイムアウトの設定」が空となってもBot Runnerでの実行には影響ありません。



手順C 手動でのBotパッケージバージョンの更新

■手順Cについて

本手順はBotを非公開領域に移動し、各Botのパッケージバージョンを個別でアップデートするものとなります。

■注意点

本手順は非公開領域のBotに対しての作業となるため、**Bot CreatorユーザーでBotごとに作業が必要**となります。本作業を行わない場合、**Chrome Ver.123にアップデートしたタイミングからレコーダーでのChromeのキャプチャができなくなります**。（※一見レコーダーが正常に記録しているように見えるが、実際には動作しない事象が発生します）

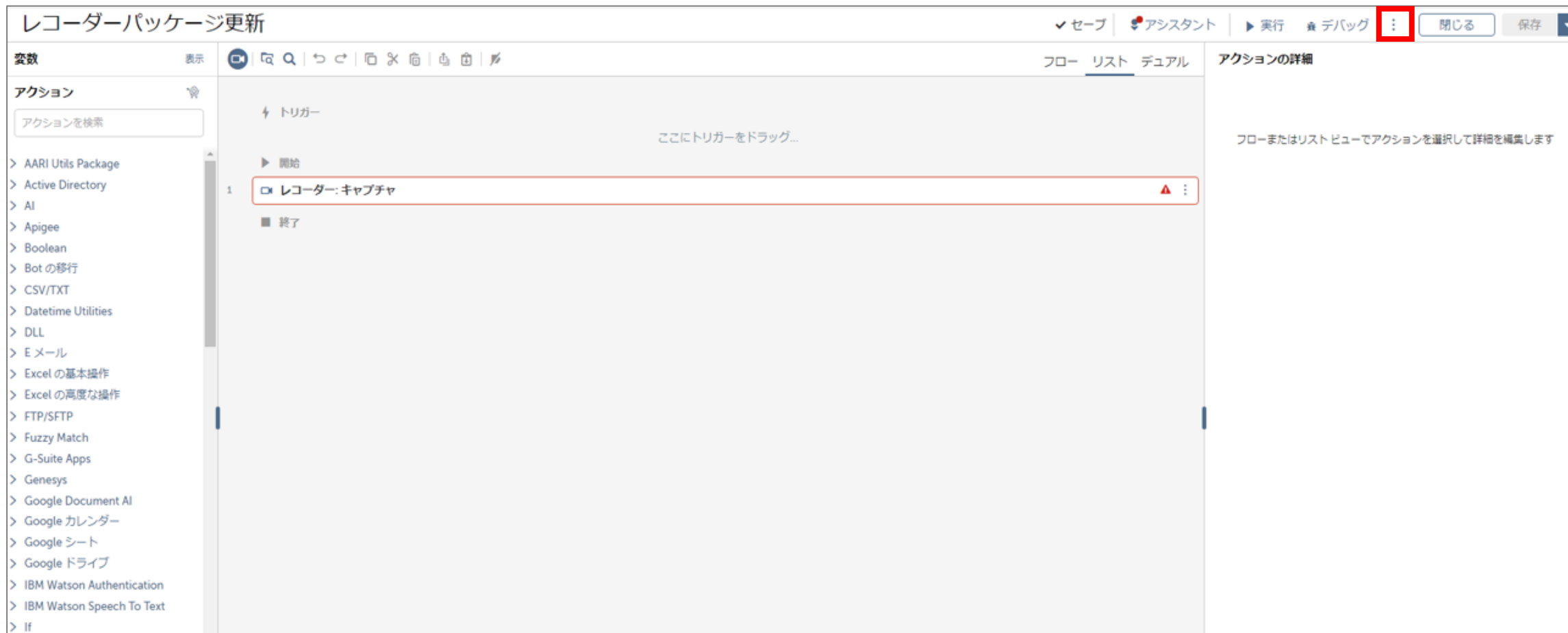
■手順Cの流れ

①手動にてBotパッケージバージョンの更新をします

具体的な手順は次ページ以降に記載してあります。

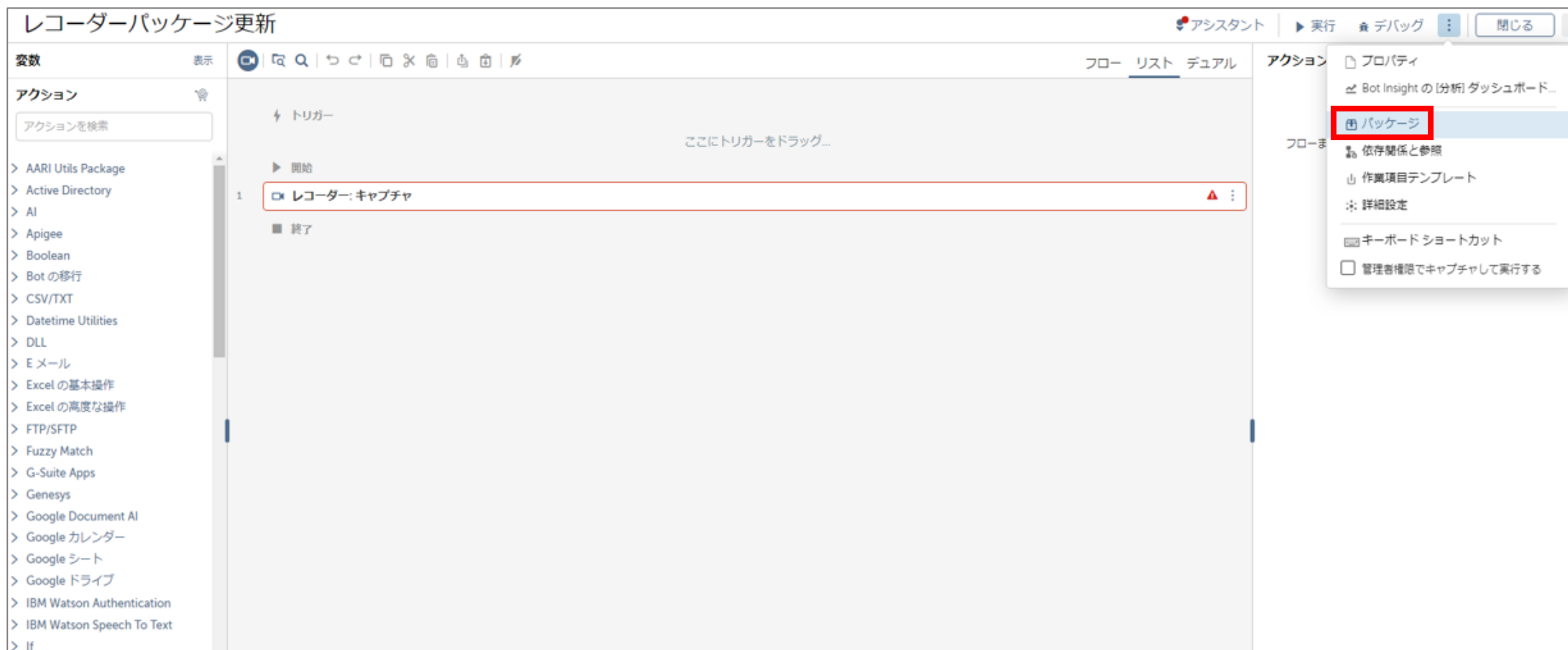
手順C 手動でのBotパッケージバージョンの更新

対象のBotがチェックアウトされている事を確認してから、Botエディターで開き、右上の3点リーダー（⋮）をクリックします。



手順C 手動でのBotパッケージバージョンの更新

開いた3点リーダーのメニューから、パッケージをクリックします。



手順C 手動でのBotパッケージバージョンの更新

パッケージ画面が表示され、「使用したパッケージ」から「レコーダー(非デフォルト)」をクリックします。



レコーダーパッケージの詳細が表示されるので、バージョンのプルダウンをクリックします。

レコーダーパッケージ更新

パッケージ

Bot Store から無料の Bot とパッケージをダウンロード

使用したパッケージ

レコーダー (非デフォルト)

2.17.2-20240125-182326

バージョン変更

クリック、読み取り、書き込みなどの UI 要素とのインタラクションを記録します。

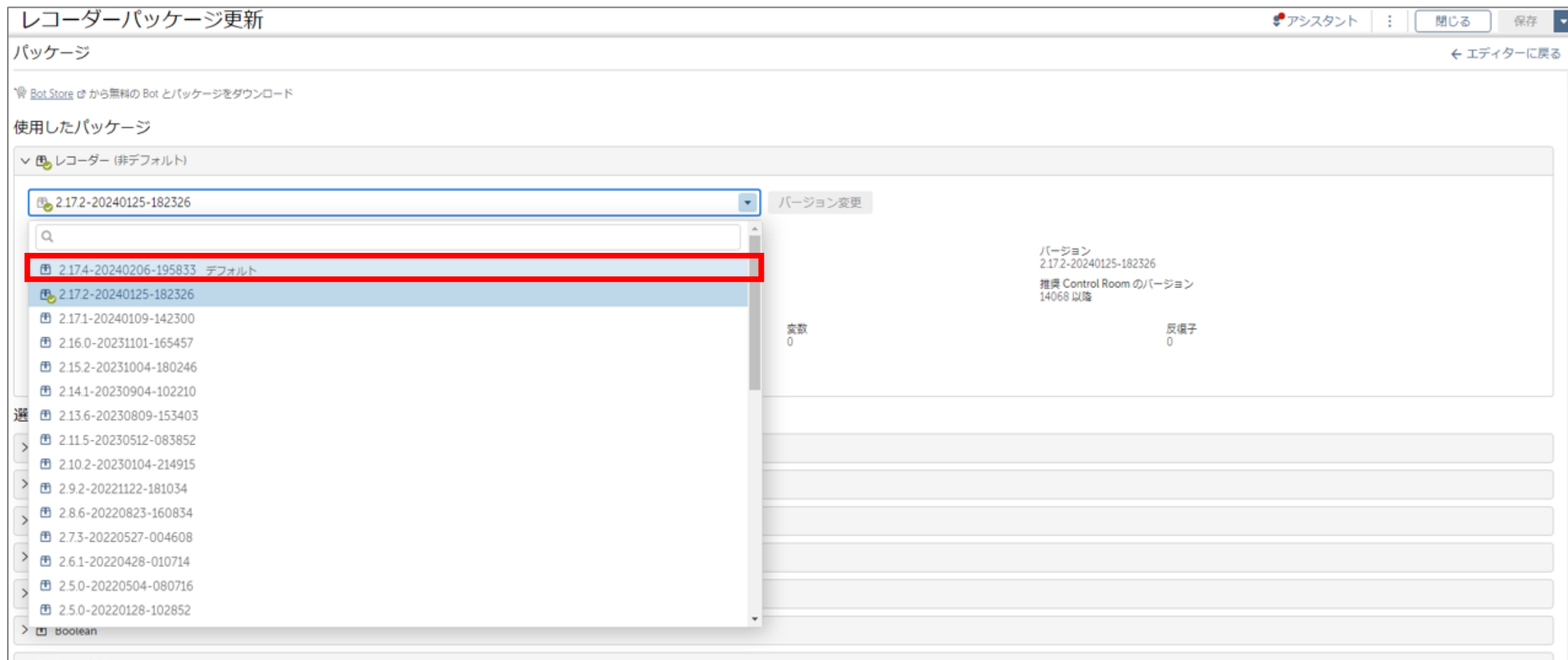
名前 レコーダー	短縮名 Recorder	バージョン 2.17.2-20240125-182326
ベンダー Automation Anywhere	推奨 Bot エージェントのバージョン 21.210 以降	推奨 Control Room のバージョン 14068 以降
アクション 3	トリガー 0	変数 0
条件 2	例外 0	反復子 0

選択可能なパッケージ

- AARI Utils Package
- Active Directory
- AI

手順C 手動でのBotパッケージバージョンの更新

使用可能なパッケージバージョンが表示されるので、変更したいバージョン(2.17.x)をクリックします。



手順C 手動でのBotパッケージバージョンの更新

バージョンを選択後に、バージョン変更ボタンをクリックします。

レコーダーパッケージ更新

パッケージ

Bot Store から無料の Bot とパッケージをダウンロード

使用したパッケージ

レコーダー (非デフォルト)

2.174-20240206-195833 デフォルト

バージョン変更

クリック、読み取り、書き込みなどの UI 要素とのインタラクションを記録します。

名前	記録名	バージョン
レコーダー	Recorder	2.174-20240206-195833
ベンダー Automation Anywhere	推奨 Bot エージェントのバージョン 21.210 以降	推奨 Control Room のバージョン 14068 以降

アクション	トリガー	変数	反復子
3	0	0	0
条件	例外		
2	0		

選択可能なパッケージ

- AARI Utils Package
- Active Directory
- AI
- AISense
- Anigee

手順C 手動でのBotパッケージバージョンの更新

レコーダーから非デフォルトの表記が消えているのを確認し、保存ボタンをクリックします。
手動でのBotパッケージバージョンの変更方法は以上となります。



■ 引数によるUiaProviderの無効化について

24R2以前のControl Roomをご利用のお客様であっても、Google Chrome Ver.123のアップデート後に2.17.1以前のレコーダーコマンドを使い続ける場合、以下の方法でChromeアップデートの影響を回避することが可能です

※ロボットのブラウザ起動箇所をすべて編集する必要があるため、2.17.6のレコーダーパッケージをご利用可能な場合、パッケージ更新（手順A～C）を実施いただくことをお勧め致します。

無効化方法：

Google Chromeの起動時に、引数「--disable-features=UiaProvider」を与える

ロボットの改修方法：

- 1.すべてのロボットのGoogle Chrome起動箇所について、右記のように「アプリケーション プログラム/ファイルを開く」コマンドを設定し、パラメーター(任意)欄に「--disable-features=UiaProvider」を設定してください。
- 2.「ブラウザ」コマンドでChromeを開いている箇所も、項番1と同様に「アプリケーション プログラム/ファイルを開く」コマンドにより、「--disable-features=UiaProvider」を引数としてChromeを起動するよう改修してください
- 3.ショートカット等をクリックしてChromeを開いている場合も、項番1と同様に「アプリケーション プログラム/ファイルを開く」コマンドにより、「--disable-features=UiaProvider」を引数としてChromeを起動するよう改修してください





Control Roomのビルド番号は、CR画面左下の「？」マークをクリックいただき、表示される「ヘルプセンター」下部に記載されています。

ビルド番号とControl Roomバージョンの対応表は以下の通りです。

- v.24R2以前 : Build 13343以前
- v.25 : Build 15097、15112、15118
- v.26 : Build 15436、15439、15450
- v.27 : Build 16667、16685
- v.28 : Build 17506、17542、17571、17593
- v.29 : Build 18324、18345、18371、18399
- v.30以降 : Build 19621以降

 SoftBank